

公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団
令和5年度事業計画

【基本方針】

主として独立行政法人日本芸術文化振興会（以下「振興会」という。）からの委託を受け、組踊等の公開等の事業について次の業務を行う。

- 1 沖縄伝統芸能等の公演
- 2 伝統芸能伝承者養成業務
- 3 調査研究、資料収集・利用業務
- 4 劇場施設を沖縄伝統芸能の振興又は普及を目的とする事業その他のための利用に供すること
- 5 国立劇場おきなわの施設の管理運営
- 6 その他必要な業務

1 沖縄伝統芸能等の公演（186,414千円）〈前年度196,405千円〉

(1) 自主公演の開催（172,830千円）

〔目 的〕 沖縄伝統芸能等の公演

〔事業内容〕 自主公演（下記の24公演38回）の稽古及び開催

○定期公演（14公演19回）

公 演 名	期 日	回数
琉球舞踊「うりずんの舞」	4月8日、9日	2回
琉球舞踊「打組舞踊の会」	4月22日	1回
組踊「孝行の巻」	5月13日	1回
三線音楽「湛水流の美」	5月27日	1回
琉球舞踊「新進男性舞踊家の会」	6月10日、11日	2回
沖縄芝居「三良若按司」	6月24日、25日	2回
琉球舞踊「琉球舞踊鑑賞会」	7月8日	1回
組踊「大城崩」「万歳敵討」	8月26日	1回
琉球舞踊「創作舞踊の会」	10月14日	1回
組踊「屋慶名大主敵討」	12月9日	1回
琉球舞踊「男性舞踊家の会」	12月16日、17日	2回
開場20周年記念 沖縄本島民俗芸能祭	1月28日	1回
開場20周年記念 三線音楽「名人たちの歌情け」※	2月17日	1回
開場20周年記念 琉球舞踊「琉球舞踊特選会」※	2月24日、25日	2回

※公演名の「※」印は、日本博事業として申請した公演

○企画公演（5公演6回）

公演名	期間	回数
アジア・太平洋地域の芸能	10月29日	1回
国立劇場寄席	11月11日	1回
開場20周年記念 開場20周年 祝いの宴 ※	1月13日	1回
開場20周年記念 本土の芸能	3月2日	1回
開場20周年記念 組踊・歌劇 傑作選 ※ 「花売の縁」「泊阿嘉」/「執心鐘入」「薬師堂」	3月16日、17日	2回

○研究公演（1公演1回）

公演名	期間	回数
組踊「花売の縁」※	9月30日	1回

※公演名の「※」印は、日本博事業として申請した公演

○普及公演（4公演12回）

公演名	期間	回数
親子のための組踊鑑賞教室「二童敵討」※	7月22日	1回
琉球舞踊鑑賞教室 ※	8月5日	1回
沖縄芝居鑑賞教室「割符」※	9月14日～16日	3回
組踊鑑賞教室「執心鐘入」※	11月15日～18日	7回

※公演名の「※」印は、日本博事業として申請した公演

(2) 自主公演の開催準備（342千円）

[目的] 公演事業委員会で、令和6年度開催の自主公演のあり方について検討する。

[事業内容] 公演事業委員会を開催し、有識者から様々な意見を聴取、検討する。

(3) 文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業（11,370千円）

[目的] 国立劇場おきなわが、県内外の多くの方が利用する本県の文化観光施設の拠点となることを目指し、県外公演を実施する。

[事業内容] 令和5年12月5日(火) 九州市民大学（琉球舞踊）

令和6年2月11日(日) 岡山芸術創造劇場（琉球舞踊と組踊）

(4) 沖縄県・国立劇場おきなわ鑑賞層拡大事業（1,872千円）

[目的] 青少年等、国立劇場おきなわの公演を鑑賞する機会が少ない層の団体に対して、劇場までのバスチャーター経費を助成する。

[事業内容] 貸切バスの費用を助成する。

2 伝統芸能伝承者養成業務（22,316千円）〈前年度23,310千円〉

(1) 組踊(立方・地方)の伝承者養成事業（19,512千円）

[目的] 国の重要無形文化財「組踊」立方・地方の伝承者を養成する。

[事業内容] 第7期研修生に対し、実技（組踊・副・基礎）等研修及び発表会を実施するとともに、組踊養成事業の計画並びに評価を専門的観点から検討するため、養成事業委員会を開催する。

- ・令和5年10月5日 第7期組踊研修生第1回研修発表会 大劇場
- ・令和6年3月7日 第7期組踊研修生第2回研修発表会 大劇場

(2) 既成者研修事業（2,804千円）

[目的] 研修を修了した者に既成者研修を行い、技芸の向上を図る。

[事業内容] 組踊研修を修了した若手実演家に対し、組踊実技の研修及び若手伝承者公演を実施する。（11月25日 第13回若手伝承者公演 大劇場）

3 調査研究、資料収集・利用業務（24,406千円）〈前年度29,311千円〉

(1) 芸能記録作成（20,161千円）

[目的] 組踊等沖縄伝統芸能の調査を実施し、収集、整理及び記録作成を行う。また、自主公演の記録、上演資料集、公演記録台本等の作成等を行う。

[事業内容] 組踊等沖縄伝統芸能の調査、収集、整理及び記録作成を行うとともに、自主公演の公演記録、上演資料集及び公演記録台本の作成を行う。

(2) 組踊等沖縄伝統芸能の図書資料等の収集・整理・利用（4,245千円）

[目的] 組踊等沖縄伝統芸能の保存・継承に資する図書資料等の収集、整理を行う。また、芸能資料展示、公演記録映像の公開を行い、一般の利用に供する。

[事業内容] 図書資料等の収集整理、芸能資料展示、公演記録映像の公開を行い、一般の利用に供する。また、公演記録鑑賞会及び沖縄伝統芸能等公開講座を開催する。

【展示】

- ・令和5年4月8日～6月18日 第1回企画展「近現代の男性舞踊家Ⅰ」
- ・令和5年7月8日～9月18日 第2回企画展「子どものための古典芸能」
- ・令和5年10月14日～12月17日 第3回企画展「近現代の男性舞踊家Ⅱ」
- ・令和6年1月13日～3月17日 開場20周年記念
第4回企画展「開場20年をふりかえる」

【公演記録鑑賞会及び公開講座】（合同開催）

- ・令和5年5月10日 「三線音楽を知る」
- ・令和5年8月11日 「こどもサマースクール」
- ・令和5年12月6日 「開場20周年記念」
- ・令和6年2月15日 「琉球国のからくり花火」

4 劇場施設を沖縄伝統芸能の振興又は普及を目的とする事業その他のための利用に供すること（8,711千円）〈前年度6,041千円〉

(1) 劇場施設の貸付

[目的] 劇場施設（大劇場、小劇場及び稽古場）の貸付を行い、芸術・文化の振興に寄与する。

[事業内容] 劇場施設の貸付を行い、国民の芸術・文化活動等の利用に供する。

5 国立劇場おきなわの施設の管理運営（591,055千円）〈前年度586,907千円〉

(1) 国立劇場おきなわの施設の管理運営

[目的] 振興会からの委託を受け、国立劇場おきなわの施設の管理運営を行う。

[事業内容] 国立劇場おきなわの施設の管理運営。

6 その他必要な業務

(1) 「国立劇場おきなわ友の会」の会員募集及び講演会等の開催（3,700千円）

[目的] 国立劇場おきなわ自主公演を継続して鑑賞する者の便宜を図ることを目的とする「友の会」の会員募集を行う。また、会員特典として、会報の発行や講演会等を開催する。

[事業内容] 「国立劇場おきなわ友の会」の会員募集、会報の発行及び講演会等の開催。

(2) 募金活動の推進（640千円）

[目的] 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団の活動資金の造成を図る。

[事業内容] 企業等へ寄附金を依頼する。

(3) 国際的発信拠点・機能強化事業（238千円）

[目的] オンライン通訳サービスの導入し、外国人客と円滑なコミュニケーションが図れるよう窓口のサービス向上を図る。

[事業内容] 民間会社の提供するオンライン通訳サービスを利用し、来場又は電話による問い合わせをされる外国人客に対応する。

【参考】「日本博」事業関連（108,221千円）※金額は、上記「1 沖縄伝統芸能等の公演」及び「5 国立劇場おきなわの施設の管理運営」の内数

※「日本博」は、「日本の美と心」を基本コンセプトに、最高峰の文化資源を更に磨き上げ、その強みや魅力を見える化することによって、年間を通してインバウンドの需要に応えることを目的とした文化庁の事業

(1) 沖縄伝統芸能の発信～2025年大阪・関西万博へ～

①インバウンド対応による多彩なコンテンツの実施

インバウンドを含め、初めて沖縄伝統芸能コンテンツに触れる客層（親子、青少年、社会人等）をターゲットとした初心者にわかりやすい公演を制作する（音声ガイド・字幕タブレット・解説書等）。

また、沖縄伝統芸能の殿堂「国立劇場おきなわ」のブランディング強化のため、開場20周年記念公演と併せて20年を振り返る展示（多言語）を行う。

<コンテンツとして用意する公演>

公 演 名	期 日	回数
親子のための組踊鑑賞教室「二童敵討」	7月22日	1回
琉球舞踊鑑賞教室	8月5日	1回
沖縄芝居鑑賞教室「割符」	9月14日～16日	3回
組踊「花売の縁」	9月30日	1回
組踊鑑賞教室「執心鐘入」 はじめての組踊～Discover KUMIODORI～『執心鐘入』	11月15日～17日 11月18日	6回 1回
開場20周年記念 開場20周年 祝いの宴	1月13日	1回
開場20周年記念 三線音楽「名人たちの歌情け」	2月17日	1回
開場20周年記念 琉球舞踊「琉球舞踊特選会」	2月24日、25日	2回
開場20周年記念 組踊・歌劇 傑作選 「花売の縁」「泊阿嘉」/「執心鐘入」「薬師堂」	3月16日、17日	2回

②動画広告等におけるインバウンド誘客事業

離島県である沖縄の当劇場に県外の観光客のみならずインバウンドを積極的に呼び込むべく、PR動画等を活用した広報宣伝を行う。

また、インバウンドの需要を把握するため、観光事業者等へのヒアリングを行うとともに、外国人観客の満足度を把握するため、自主公演時に実施しているアンケートを国内・海外を分けて集計する。

- ・沖縄へ向かう旅客航空機（国際線、国内線）の機内CMにて国立劇場おきなわのPR動画放映
- ・ホームページやSNS（Facebook、Twitter、YouTube）等でのインバウンド向け情報発信（英語）

③劇場ツアーや観光資源との連携事業

インバウンド誘客のため、公演前のワークショップやバックステージツアーの多言語対応を行う。

また、インバウンドを含め、初めて沖縄伝統芸能コンテンツに触れる客層（親子、青少年、社会人）をターゲットに、伝統芸能の魅力をPRする取組を行う。

- ・ワークショップ、バックステージツアーに通訳を配置する。
- ・（一財）沖縄美ら島財団と連携し、首里城のガイドツアーにおいて組踊ワークショップ等を実施。

④講座とからくり花火

- ・日本本土と中国の伝統的な手作り花火を調査し、その成果を講座等で発表する。
- ・復元からくり花火を1基を製作・実演し、開場20周年を盛り上げる。
- ・HPやSNS等により多言語で周知し、花火の動画配信を行う。